

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 23 年 10 月 3 日（月）ご依頼分より

■ 新規項目

| | |
|------|----------|
| 検査項目 | ● ABC 検診 |
|------|----------|

■ 新規項目内容一覧

| 項目コード (統一コード) | 検査項目 | 検査材料 | 容器 | 保存 (安定性) | 所要 日数 | 実施料 判断料 | 検査方法 | 基準値 (単位) | 備 考 |
|------------------|-------|-----------|--------|-------------|----------|------------|--|-------------|--|
| 63965 | ABC検診 | 血清 0.8 | ↓ X | 冷蔵 (21日) | 2~4 | | ヘリコバクターピロリ IgG 抗体：EIA ペプシノゲン：CLEIA | 次頁 参照 | ペプシノゲンと ヘリコバクター ピロリ IgG 抗体 を実施し、それ ぞれの検査結果 と ABC 分類を ご報告いたしま す。 |

● ABC 検診

受診者への負担が少ない血清を用いた胃がんリスク検診です。

ABC 検診は、ヘリコバクターピロリ IgG 抗体でピロリ菌感染の有無を、ペプシノゲンで胃粘膜萎縮度を調べ、その結果を組み合わせることで胃がんのリスクを4群(ABCD)分類で評価する検診です。胃がんリスクに応じて内視鏡による精密検査を行うなど、効果的な胃がん検診として期待されています。

▼検査要項

| | |
|-----------|--|
| 検査項目名 | ABC 検診 |
| 項目コード No. | 6396 5 |
| 検査材料 | 血清 0.8 mL |
| 容器 | X (ポリスピッツ) |
| 保存方法 | 冷蔵 |
| 保存安定性 | 21日間 |
| 所要日数 | 2~4日 |
| 検査方法 | ヘリコバクターピロリ IgG 抗体：EIA ペプシノゲン：CLEIA |
| 基準値 (単位) | 下記参照 |
| 実施料 | 未収載 |
| 判断料 | 未収載 |
| 備考 | ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ IgG 抗体を実施し、それぞれの検査結果と ABC 分類をご報告いたします。 |

ABC 分類判定基準

| ABC 検診 | | ヘリコバクターピロリ IgG 抗体 | |
|--------|-------------|-------------------|-----------|
| | | 10 未満 (-) | 10 以上 (+) |
| ペプシノゲン | (-) | A 群 | B 群 |
| | (1+) ~ (3+) | D 群 | C 群 |

| | |
|-----|-----------------------------|
| A 群 | 健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。 |
| B 群 | 消化性潰瘍に留意する必要があります。 |
| C 群 | 胃がんの高危険群と考えられます。 |
| D 群 | 胃がんのより高危険群と考えられます。 |

【注意事項】

以下の場合には、正しい結果が得られない可能性があります。

1. 明らかな上部消化器症状のある方
2. 食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方
3. 胃酸分泌抑制薬服用中もしくは2ヶ月以内に服用していた方
4. 胃切除をされた方
5. 腎不全の方
6. ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を受けた方

「胃がんリスク検診 (ABC 検診) マニュアル」より一部改変

▼参考文献

- 菊地 正悟, 他: 医学と薬学 43 (3): 581~586, 2000. (ヘリコバクターピロリ IgG 抗体検査方法参考文献)
 三木 一正, 他: 医学と薬学 56 (6): 889~896, 2006. (ペプシノゲン検査方法参考文献)
 NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構編: 胃がんリスク検診 (ABC 検診) マニュアル: 9~10, 39~42, 2009.